

第111回 海洋教育フォーラム



開催テーマ

実海域はイノベーションの場 ～実海域を活用した技術開発と人材育成～

2026 10.13 TUE 開場 9:00
9:30 - 16:00

会場 出島メッセ長崎

1階 会議室 101C (長崎市尾上町4-1 JR長崎駅隣接)

参加無料

お申込みはこちら▶



第一部

学生発表

- ・北九州市洋上風力キャンプ参加学生 (6グループ 予定)
- ・東京大学「海洋学際教育プログラム」参加学生 (1グループ 予定)

第二部

講演①

潮流発電の実海域実証から 社会実装へ

～奈留瀬戸プロジェクトで得られた経験と
次のステージへの挑戦～

講演②

実海域が鍛える船と人

～長崎発・洋上風力CTVの開発～

講演③

海洋ロボットの システムデザイン

主催

日本船舶海洋工学会海洋教育推進委員会 海洋教育フォーラム長崎地区実行委員会 / 産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム (IACOW) / 長崎大学海洋未来イノベーション機構 / 長崎総合科学大学 海洋エネルギー研究センター

後援

長崎県 / 長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 (長崎海洋アカデミー) / 一般社団法人日本風力発電協会 (JWPA)

IACOW メンバー

長崎大学 / 秋田大学 / 秋田県立大学 / 北九州市立大学 / 千葉大学 / 新潟大学 / 国際教養大学 / 東北公益文科大学 / 東京電力リニューアブルパワー / JERA Nex bp / 中部電力 / ENEOS リニューアブル・エナジー / 東北電力 / 住友商事

※法人格表記省略



海洋教育フォーラム開催については順次HPで情報を掲載していきます。

ホームページ: <https://iacow-education.jp/>

この件に関するお問い合わせは 産学連携洋上風力人材育成コンソーシアム (IACOW) 事務局

E-mail: iacow_jim@ml.nagasaki-u.ac.jp

Tel: 095-800-4135



※予告なく一部変更になる場合がございます。

2026.9.17版

第111回 海洋教育フォーラム【長崎地区】

実海域はイノベーションの場

～実海域を活用した技術開発と人材育成～

2026 10.13 TUE PROGRAM プログラム

9:00 開場

9:30 開会挨拶

9:40 第一部 学生発表

北九州市洋上風力キャンプ参加学生による発表

有望地域である福岡県響灘沖の事業計画案を以下の内容で6グループが発表 予定

- | | | |
|--------------------|------------------------|---------------------|
| A. 事業の資金計画・収支計画 | B. 運転開始以降の事業計画(維持管理計画) | C. 電力安定供給(サプライチェーン) |
| D. 周辺航路、漁業等との協調、共生 | E. 地域経済への波及効果 | F. 国内経済への波及 |

東京大学「海洋学際教育プログラム」参加学生による発表(1グループ 予定)

13:30 第二部 講演・総合討論

講演① 13:35～



潮流発電の実海域実証から 社会実装へ

～奈留瀬戸プロジェクトで得られた経験と
次のステージへの挑戦～

九電みらいエナジー株式会社
第2事業部 事業企画部

平安山 勝弘

講演② 14:10～



実海域が鍛える船と人 ～長崎発・洋上風力CTVの開発～

長崎総合科学大学 工学部工学科
船舶工学コース 教授 兼
NPO法人 長崎海運人材育成協会 理事長

松岡 和彦

講演③ 14:55～



海洋ロボットの システムデザイン

国立研究開発法人 海洋研究開発機構(JAMSTEC)
地球環境研究部門・北極環境変動研究センター
北極観測技術開発グループ
上席研究員 兼 長崎大学客員教授

吉田 弘

15:55 閉会挨拶